

企画展「仰ぎて天文を見る—江戸時代の天文学・暦学・星占い—」展示資料リスト

No.	指定	資料名称	員数	作成者	制作年	所蔵者	内容
I章 天文の記録と暦道・陰陽道							
1		にほんしょき 日本書紀	3冊		奈良時代成立 寛政6年(1794)刊	当館（井伊家伝来典籍）	せいしょく 星食・オーロラ・ハレー彗星の記事がある。
2		ふそうりやつき 扶桑略記	1冊		平安時代成立 文政3年(1820)刊	当館（井伊家伝来典籍）	ハレー彗星による改元記事がある。
3		めいげつき しゃほん 明月記（写本）	1冊	ふじわらのさだいえ 藤原定家	平安～鎌倉時代成立 寛文2年(1662)写	京都府立京都学・歴史館	藤原定家の日記。寛喜2年(1230)11月初旬条に、寛弘3年(1006)と天喜2年(1054)と 治承5年(1181)の超新星の記録が引用されている。
4		えんぎしき 延喜式	1冊		延長5年（927）成立 享保9年(1724)刊	当館（井伊家伝来典籍）	巻16に陰陽寮の人員や職務に関する規定がある。
5		せいかいぬきがき 星解抜書 めいわろくねんしちがつげんちやうせいざうつし （明和六年七月現長星図写）	1点		江戸時代	彦根市立図書館 （平石家文書）	『星解』という書物からの抜き書き。明和6年(1769)7月に出現した彗星を、暦道家・陰陽家が報告した内容。
6		せいかいぬきがき 星解抜書 かんじんでんべんのことうつし （勘申天変之事写）	1冊		江戸時代	彦根市立図書館 （平石家文書）	『星解』という書物からの抜き書き。明和6年(1769)7月に出現した彗星を、暦道家・陰陽家が報告した内容。No.5の資料と一連のもの。
II章 星の信仰							
7		すくようきやう 宿曜経	2冊		8世紀成立 延宝9年(1681)刊	当館（琴堂文庫）	インド占星術を元に唐で8世紀に成立した経典。正確には仏典ではない。空海により日本にもたらされ、宿曜道の根本となり、仏教にも影響を与えた。
8		ほんみやうしやうしんごん 本命星真言	1冊		江戸時代写	当館（琴堂文庫）	本命星（生まれ年により北斗七星の中から割り当てられる星）に関する真言（一種の呪文）が記された経典。
9		ぶっせつほくとしちせいえんめいきやう 仏説北斗七星延命経	1冊		近世～近代写	当館（琴堂文庫）	北斗七星を祀る経典。
10	○	ほしまんだらざ 星曼荼羅図	1幅		南北朝時代(14世紀)	高倉寺宝積院	天体を図像化して配置した曼荼羅。日月・北斗七星・七曜・十二宮・二十八宿・妙見像などを描く。
III章 江戸時代の天文学							
11		てんもんずかい 天文図解	5冊	いぐちつねのり 井口常範	元禄2年(1689)刊	当館（琴堂文庫）	江戸時代に出版された天文学の通俗的な書物。
12		てんしやうれつじのず 天象列次之図	1枚	やすいさんてつ 安井算哲	寛文10年(1670)刊	当館（彦根藩大久保家文書）	安井算哲（後に渋川春海と改名）による星座図。独立した星図の版本としては日本
13	◎	すいせいりやくず 彗星略図	1枚		文久元年(1861) 5月	当館（彦根藩井伊家文書）	文久元年5月に現れた彗星略図、及び彗星に関する文献の抜き書き。彗星は吉凶とは関係ない旨の天文方の意見も添えられている。
14		しんせいでんもんだいでんもんれきそくりやうごうえず 新製天文台天文暦測量御用絵図	1枚		江戸時代	彦根市立図書館 （平石家文書）	幕府が江戸の神田佐久間町に設置した天文台の図面。
15	◎	こうてんちせんこんりんのみず かんごせいず 昊天地球旋渾輪之図・観五星図	各1枚	まつもとぎへいやすおき 松本儀平保居	天保13年(1842)	当館（彦根藩井伊家文書）	西洋の書物の天体図などが描かれた銅版画。西洋天文学の流入を示す。

No.	指定	資料名称	員数	作成者	制作年	所蔵者	内容
16	◎	はちぶんぎおよびそのようほうのき 八分儀及其用法之記	1冊		江戸時代	当館（彦根藩井伊家文書）	オランダの八分儀の解説書を長崎通詞の志筑忠雄が翻訳したものの。
17		こうとくいやすたかしょじょう 幸徳井保嵩書状	1通	こうとくいおんみょうのすけやすたか 幸徳井陰陽助保嵩	(寛延元年(1748)) 8月27日	彦根市立図書館 (平石家文書)	幸徳井家を継いだ保嵩が、作暦や改暦が困難なため彦根藩士の平石の上京と助力を乞う内容。幸徳井家は賀茂氏の流れを引く暦道の家。
18		ろうじゅうたっしょ 老中達書	1通	ろうじゅう 老中	(寛延2年(1749)) 11月22日	彦根市立図書館 (平石家文書)	幸徳井家の依頼により平石が上京して改暦に従事したいとすることに対し、彦根藩として公的な上洛は認められないとするもの。
19		せいざず 星座図	1枚		江戸時代	彦根市立図書館 (平石家文書)	天の赤道を軸にした星座図。二十八宿を描く。
20		せいざばん 星座盤	1点		江戸時代	彦根市立図書館 (平石家文書)	何層かの円形の紙に方角や時刻、星座が書かれている。中心を軸に紙を回転させて星座の見え方を知るためのもの。
IV章 江戸時代の暦学							
21		れきりんもんどうしゅう ぐんしよゐいじゅう 暦林問答集（群書類従より）	1冊		応永21年(1414)成立	当館（井伊家伝来典籍）	陰陽道の暦注の参考書。閏月の設定の仕方を解説した積閏月第十九を展示する。
22		さいこうちょうけいせいせんみょうれきさんぼう 再考長慶宣明暦算法	6冊	あんどうゆうえき 安藤有益	(寛文3年(1663))	当館（琴堂文庫）	安藤有益による宣明暦の解説。宣明暦は唐で長慶2年(822)から施行された暦で、日本では貞観4年(862)から施行、貞享2年(1685)の改暦まで使用された。
23		いせごよみ 伊勢暦	1冊		江戸時代	当館（井伊家伝来典籍）	江戸時代に広く使用された暦。文化3年(1806)のものを展示。
V章 天文との向き合い方							
24		くようせいききょうかきつけ 九曜星吉凶書付	1枚		江戸時代	当館（磯崎家文書）	九曜星それぞれに設定された年齢により吉凶を男女別に占ったもの。
25		とうぼうさくせいけんひでん 東方朔星見秘伝	1冊	緑川栄太郎	天保12年(1841) 正月	個人	星と月の位置関係による農耕などに関する星占い。
26		てんぼうだいざっしょまんねんごよみ 天保大雑書万歳暦	1冊		天保5年(1834)刊	当館（彦根藩伝来典籍）	江戸時代の生活実用書。星占いや暦の解説なども含む。
27		さんだいこう 三大考	1冊	ほっとりなかつね 服部中庸	寛政3年(1791) 5月25日	当館（井伊家伝来典籍）	本居宣長の弟子である服部中庸の著書で、日本神話における天地開闢を考察したものの。「三大」とは天・地・泉の神話的世界を意味する。
28		こがくとうもんろく 古学答問録	3冊	ながのよしとき 長野義言	弘化2年(1845)	当館（井伊家伝来古文書）	長野義言の著書。服部中庸『三大考』や平田篤胤『靈能真柱』などを踏まえた宇宙論や天体運動理解について述べる。
29	◎	じつげつけんゆうどうらんこうはやみばん 日月頭幽道運行早見盤	1点		江戸時代	当館（彦根藩井伊家文書）	円盤を回転させて太陽や月の位置がわかるようになっている早見盤。南北アメリカ・アジア・ヨーロッパ・アフリカ・オランダなどが地図に描かれている。
VI章 天体観測の器具							
30	◇	てんきゅうぎ 天球儀	1基		江戸時代(18世紀初)	大將軍八神社	渋川春海が元禄12年(1699)に公刊した「天文成象図」に基づく星座が表されている。国内の天球儀では古例に位置づけられる。
31		しごせんぎふようせいききょうぎぜんず 子午線儀附用星鏡儀全図	1枚		江戸時代	当館（井伊家伝来典籍）	測量器具の図。各部の名称や機能、使い方が示されている。

No.	指定	資料名称	員数	作成者	制作年	所蔵者	内容
32		からくきもんらでんつづぼうえんきょう 唐草文螺鈿筒望遠鏡	1基		19世紀	当館（井伊家伝来資料）	イギリス製望遠鏡。螺鈿は日本で施されたものか。
33		ながづつぼうえんきょう 長筒望遠鏡	1基	いわはしぜんべえ 岩橋善兵衛	江戸時代(19世紀)	当館（井伊家伝来資料）	いずみ 和泉国の岩橋善兵衛作の望遠鏡。
34		ほんしやぼうえんきょう 反射望遠鏡	1基	くにともいつかんさい 国友一貫斎	江戸時代(19世紀)	当館（井伊家伝来資料）	おうみ 近江国の国友一貫斎作の望遠鏡。
35		トランシット	1基		19世紀	当館（井伊家伝来資料）	イギリス製の測量器具。対象の高度などを測る。

※指定欄 ◎：国指定重要文化財 ○：大阪府指定有形文化財 ◇：京都府指定有形文化財

資料解説

1 明月記(写本) 1冊(作品リストNo.3)

寛文2年(1662)写

縦28.8cm 横18.8cm

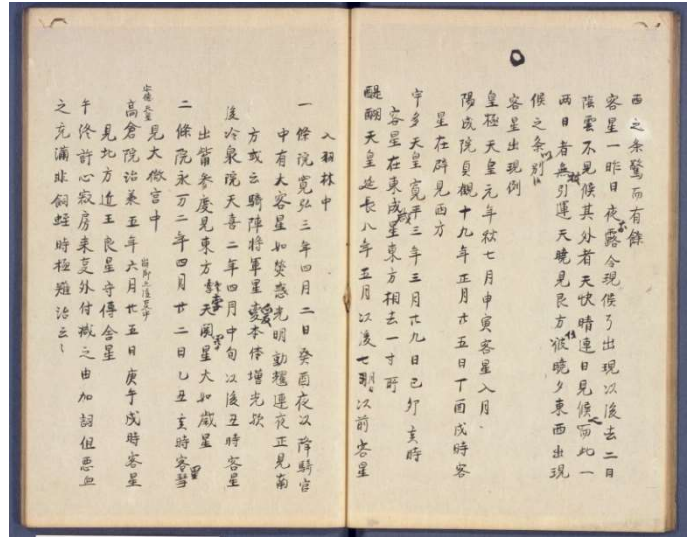
京都府立京都学・歴彩館蔵

平安時代末～鎌倉時代前期の貴族である藤原定家(1162～1241)が、治承4年(1180)から嘉禎元年(1235)まで書き続けた日記。定家は歌人としても知られています。

寛喜2年(1230)11月に彗星が出現した際、定家が過去の記録を書き留めており、そこには

寛弘3年(1006)、天喜2年(1054)、治承5年(1181)の超新星(恒星が爆発することで急激に明るさを増す現象)の記録が含まれています。望遠鏡発明以前の超新星の記録は世界で7例が知られていますが、『明月記』にはそのうち3例が記録されています。

展示するのは京都府立京都学・歴彩館が所蔵する、寛文2年(1662)に作られた写本です。自筆の原本は国宝に指定されており、冷泉家時雨亭文庫が所蔵しています。



2 星曼荼羅図 1幅(作品リストNo.10)

大阪府指定有形文化財

南北朝時代(14世紀)

縦120.2cm 横62.1cm

高倉寺宝積院蔵

天体を図像化して配置した曼荼羅。星曼荼羅は密教における除災・延命祈願の本尊として制作されました。本図では、本尊の熾盛光仏を中心に、神格化・図像化された星々が配されています。

仏教の信仰に星が取り入れられ、崇拝の対象にもなっていたことがわかります。



3 ^{てんもんずかい}天文図解 5冊 (作品リスト No. 11)

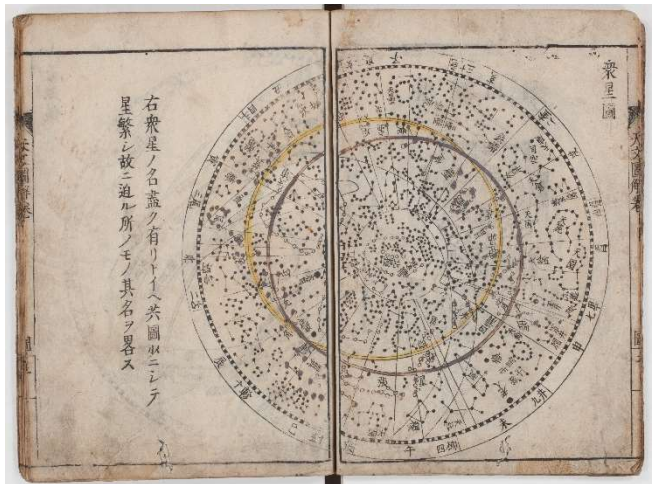
元禄2年 (1689) 刊

縦 22.1cm 横 15.9cm

当館蔵 (琴堂文庫)

^{いぐちつねのり}井口常範が元禄2年 (1689) に著した一般向けの全五巻の天文学書。日本で刊行された一般向けの天文学書としては、かなり古いものと考えられています。著者の井口常範は、京都の医師で後に水戸藩に仕えたようですが、生没年を含めて未詳です。

第1巻から第3巻は天体の運動について、第4巻は暦と天文に関する旧説の批判について記されており、第5巻では20年分の天体の動きが計算されています。



4 ^{こうとくいやすたかしよじょう}幸徳井保嵩書状 1点 (作品リスト No. 17)

(寛延元年 (1748)) 8月27日

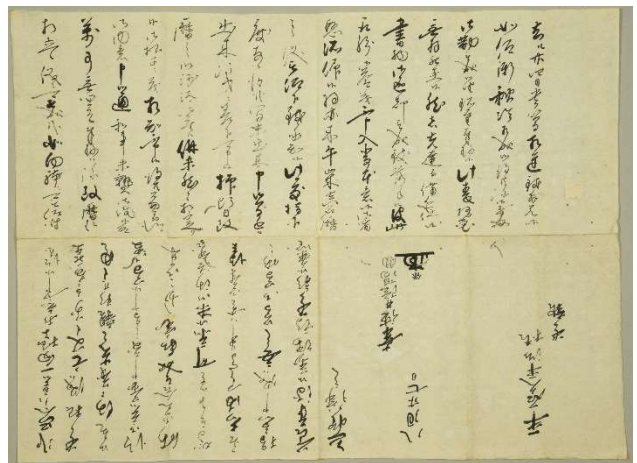
縦 35.6cm 横 48.2cm

彦根市立図書館蔵 (平石家文書)

幸徳井保嵩 (1730~1802) が彦根藩士である平石久平次に宛てて出した書状。幸徳井家は平安時代から陰陽道を司った賀茂氏の流れを引く暦道の家です。

書状では、保嵩は幸徳井家を継いだばかりで、詳細は決まっていないが改暦があること、しかし自分 (保嵩) は未熟で万事心許ないこと、勤務の合間を見て私宅へ来て欲しいこと、などが述べられています。平石の助力を乞う内容であり、平石の学識の高さが伺えます。

平石久平次は藩士としての公務のかたわら、個人的に天文学を始め様々な学問を学んでいました。「陸舟 奔車」という自転車を作製したことで知られています。平石の著書は大部分が関東大震災で焼失しており、その学識の全貌は不明ですが、被災を免れた平石家文書 (彦根市立図書館蔵) に残る古文書には天体の観測記録も残っています。



5 九曜星吉凶書付 1点 (作品リスト No. 24)

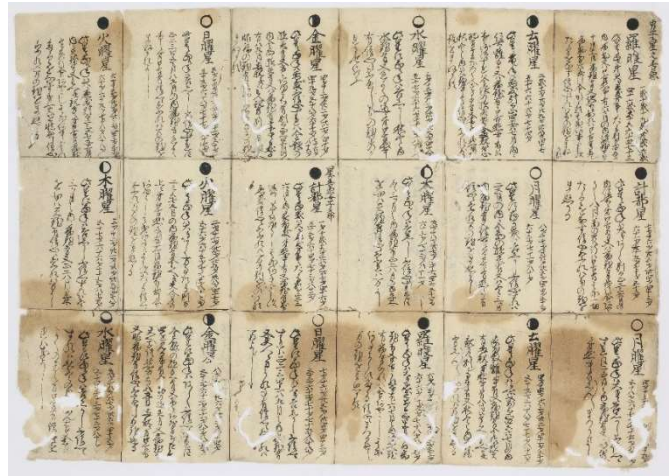
江戸時代

縦 27.0cm 横 37.0cm

当館蔵 (磯崎家文書)

九曜星(日・月・火・水・木・金・土の七曜星と羅睺星・計都星)に対応する年齢ごとの吉凶を男女別に占ったもの。例えば、男性の羅睺星には1・10・19・28・37・46・55・64・73歳が当たるとされています。

本資料では、羅睺星・火曜星・計都星が大凶、日曜星・木曜星が大吉、土曜星・金曜星が凶、水曜星・月曜星が吉、程度の内容になっています。いずれの星の場合も信心すれば難を免れるとされています。



6 天球儀 1基 (作品リスト No. 30)

京都府指定有形文化財 (皆川家天文曆道関係資料のうち)

江戸時代 (18世紀初)

縦・幅・奥行 約 50cm (台座含む)

大將軍八神社蔵

初代幕府天文方となる天文学者の渋川春海(しぶかわはるみ) (1639~1715) が元禄12年(1699)に公刊した「天文成象図」に基づく星が表されている天球儀。天球とは、地上から空を見た際に天体が貼り付いているように見える仮想的な球面のことです。天球儀は天球を外から見るように作られるので、星の見え方は裏返しになっています。

本資料は、日本で作られた天球儀の中では古いものです。星や天球上の赤道と黄道(太陽の通り道)、よく見ると天の川も表現されています。中央の球は天の北極と南極を軸に回転します。



- 7 ^{はんしゃぼうえんきょう} 反射望遠鏡 1基 (作品リスト No. 34)
江戸時代 (19世紀)
高さ 41.0cm 鏡筒長 32.3cm
当館蔵 (井伊家伝来資料)

近江国国友村 (現長浜市) の^{くにともとうべえ} 国友藤兵衛
(^{いっかんさい} 一貫斎、1778~1840) が制作した反射望
遠鏡。江戸時代には「テレスコツフ」と呼
ばれていました。脚部の裏面に「一貫斎
国友眠龍造之」と刻銘があります。一貫斎
の没後、彦根藩井伊家^{なおあき てんぼう} 12代直亮が天保13
年 (1842) に25両で購入しました。

一貫斎は火縄銃を作る鉄砲鍛冶でしたが、鉄砲以外にも気砲 (空気銃) や懐中筆
(現在でいう筆ペン) なども制作してい
ました。

